



第 46-2 号
校長 久高利美子

非を問いながらも、本当に伝えたかったことは「対話すること」や「徹底して議論すること」の大切さだと思う。もし、当時の日本とアメリカが互いの文化や世界での役割を尊重しあえていたら、もし、正当な外交で対話し合えていたら、あのひさんな太平洋戦争はなかったのではないかと思う。八人が議論をつくしてこの討論会を「平和を創造するための第一歩としたい」としめくくったように、戦争をさけるチャンスはあったのではないか、そう思えてならない。私はこの夏、この本を読んだこともあって、八月六日の広島、そして九日の長崎のニュースを感じ心をもって見た。それぞれの市長が平和宣言で述べていたように、唯一の被爆国でありながら核兵器禁止条約に署名しない日本にあせんとする。このことに関して、また憲法改正などについて、もっと話し合う場が必要だと思う。しかし、今の社会は自由に表現したり、議論したりする雰囲気やなくしかけていくことが気がかりだ。私は、メイたちの正堂堂とした態度に習って、日々の生活の中で対話や討論を大切にしていきたい。議論をつくすことそのもので救われる人、救える世界があるということを伝えられるような生き方をしたいと思う。

「過ちはくり返りませぬから」



令和元年度 名護市教育功労者・児童生徒等表彰式 令和 2 年 1 月 18 日 名護市民会館中ホール

【教育功労者】社会教育（多年にわたり名護市の PTA 活動及び青少年健全育成に尽力）

本校 12 代 PTA 会長 大城享さん

本校 13 代 PTA 会長 儀間敦夫さん

【名護市児童生徒等表彰】

2 年生 比嘉理喜さん（スポーツ活動） K-SPIRIT ジュニア 12 階級タイトルマッチ大会ジュニア 40kg 王者 オールジャパンアマチュアキックボクシングチャンピオンシップ U-15 45kg 級準優勝

*おめでとうございます。